

日本保健物理学会 新 Newsletter 2018年10月10日号

送信者:一般社団法人日本保健物理学会<exec.off@jhps.or.jp> 2018/10/10 14:05:59

-----  
日本保健物理学会 新 Newsletter 2018年10月10日号  
-----

1. 学会関連情報

○[速報] 企画シンポジウム開催のお知らせ「医療における放射線防護を考える ～医療被ばくと従事者被ばく～」  
2019年1月12日(土) 13:30～17:00 東京医療保健大学国立病院機構キャンパス別館 2511

○本学会共催, ICRP-QST-RERF Workshop on Individual Response to Ionising Radiation :  
Current Scientific Evidence on Factors that Influence Individual Response  
(12月12日、国立がん研究センター 築地キャンパス)

First Announcement:

<http://www.icrp.org/docs/ICRP-QST-RERF%20Workshop%20Dec%202018%20First%20Announcement.pdf>

○SRP (英国放射線防護学会) との連携による2019年SRP研究発表会への参加費減免について  
2019年5月21～23日に Scarborough (Northern England) で開催予定のSRPの研究発表会では、当学会の学会員  
については、参加費をSRP会員価格 (Member Rate) と同額にして頂けることになりました。

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/news/page.cgi?id=127>

2. 関連する研究情報

○IAEA IAEA Safety Standards Series, No. GSG-8, GSG-9, GSG-10 を新たにリリース

<https://www.iaea.org/newscenter/news/three-new-iaea-safety-guides-on-radiation-protection-available>

○日本原子力学会 放射線工学部会 簡易遮蔽解析コードレビューワーキンググループ H29年度活動報告書を公開

<http://www.aesj.or.jp/~rst/>

(論文情報)

○IARC Technical Publications No. 46 Thyroid Health Monitoring after Nuclear Accidents

原子力事故後の甲状腺健康モニタリングの長期戦略について規制当局に向けた勧告

<http://publications.iarc.fr/571>

○J Radiol Prot. 2018 Sep;38(3):1217-1233.

米国放射線審議会 (NCRP) が2018年5月に刊行した NCRP Commentary No. 27 「最近の疫学研究の直線しきい線量なしモデルと放射線防護への示唆」の英語解説記事。

Implications of recent epidemiologic studies for the linear nonthreshold model and radiation protection.  
Shore R et al

<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/30004025>

(同コメントリーの日本語解説記事は下記参照)

[https://www.jstage.jst.go.jp/article/jhps/53/2/53\\_47/\\_article/-char/ja](https://www.jstage.jst.go.jp/article/jhps/53/2/53_47/_article/-char/ja)

○Radiation Measurements, volume 119, December 2018, pages 6-11

本邦民間航空会社の協力を得て、航空機乗務員の宇宙線被ばく管理に現在用いられている計算プログラムの中性子線量評価に係る精度を、日本発の長距離国際便4路線で2種類のレムカウンタを用いて検証した。

中性子の総線量では実測値と計算値はよく一致したが、実測で求めた高エネルギー中性子成分の寄与は計算値を有意に上回った。

Verification of cosmic neutron doses in long-haul flights from Japan

Yasuda H and Yajima K

<https://www.sciencedirect.com/science/article/abs/pii/S1350448718303317>

○Health Physics November 2018 - Volume 115 - Issue 5

新エディターの構想による「放射線科学分野の若手女性研究者とコミュニティ形成の重要性」特集号

今月いっぱいまで pdf フリーアクセス

東京電力福島第一原発事故時に政府が定めた各種の放射線に対する基準は社会に大きな混乱をもたらしたが、最も大きな混乱の原因であったのは「信頼」の喪失であったことを指摘し、いわき市末続地区で著者らが住民とともに行なった測定活動が「信頼」の回復につながったことを報告するとともに、その限界についても指摘した。

Trust? what Connects Science to Daily Life

Ando R

<https://journals.lww.com/health-physics/pages/currenttoc.aspx>

### 3. ニュースや社会の動き

○原子力規制委員会 第142回総会放射線審議会の配布資料を公開(9月28日)

東京電力福島第一原子力発電所事故の教訓を踏まえた緊急時被ばく状況及び現存被ばく状況における放射線障害防止に係る技術的基準の策定の考え方について(案)

<http://www.nsr.go.jp/disclosure/committee/houshasen/00000035.html>

○日本アイソトープ協会 放射性試薬の総合情報サイトをJ-RAMのトップページとして新たに開設(10月1日)

<https://www.jrias.or.jp/topics0/topics4/j-ram.html>

○JAEA 原子力規制委員会に対し人形峠環境技術センターにおける加工事業に係る廃止措置計画の認可を申請

(9月28日)

<https://www.jaea.go.jp/02/press2018/p18092802/>

### 4. これからのイベント

○NPO 放射線安全フォーラム 第57回放射線防護研究会「再生可能エネルギーの活用と原子力の今後を念頭においてエネルギー問題を再考する」

(10月20日13:30-、株式会社千代田テクノル本社ビル 2階会議室)

[http://www.rsf.or.jp/events\\_research.html](http://www.rsf.or.jp/events_research.html)

○J-PARK The 3rd J-PARC Symposium (J-PARC2019)

(2019年9月23~26日、つくば国際会議場)

<http://j-parc.jp/symposium/j-parc2019/>

○JAEA 安全研究センター報告会

(11月8日、富士ソフト アキバプラザ 6階セミナールーム1)

[https://www.jaea.go.jp/04/anzen/H30houkokukai\\_r.pdf](https://www.jaea.go.jp/04/anzen/H30houkokukai_r.pdf)

○JAEA 第13回原子力機構報告会：「原子力機構はいま」－機構をとりまく“いま”と“未来”－

(11月13日、有楽町朝日ホール、参加申込期限：11月9日)

<https://www.jaea.go.jp/jaea-houkoku13/>

○FDR2019 組織委員会 (日本原子力学会、日本機械学会) International Topical Workshop on Fukushima Decommissioning Research (FDR2019)

(2019年5月24~6日、ナショナルトレーニングセンター Jヴィレッジ、発表申込期限：11月30日)

<https://fdr2019.org/>

○医療機器フォーラム 第16回「放射線治療の最前線」(11月19日、早稲田大学 小野記念講堂)

<http://dmd.nihs.go.jp/iryokiki/index.html>

○日本アイソトープ協会 放射線安全取扱部会近畿支部、中国・四国支部 平成30年度放射線フィールド測定調査会

(11月23日、京都祇園エリア、参加申込期限：10月29日(定員になり次第締切))

<https://jrias.smtg.jp/public/seminar/view/41>

## 5. 公募情報、学生・ポスドク受入情報

○高エネルギー加速器研究機構 共通基盤研究施設放射線科学センター 博士研究員1名(締切：2019年1月31日)

<https://www.kek.jp/ja/Jobs/2018/09/ar118-1hakasekenkyuin.pdf>

○北海道大学大学院工学研究院 量子理工学部門 応用量子ビーム工学分野 中性子ビーム応用理工学研究室 教授1名(締切：12月3日)

[http://yggdrasil.eng.hokudai.ac.jp/download\\_file/files/qjin/pa30-23.pdf](http://yggdrasil.eng.hokudai.ac.jp/download_file/files/qjin/pa30-23.pdf)

○北海道大学大学院工学研究院 量子理工学部門 応用量子ビーム工学分野 量子ビーム応用医工学研究室 助教 1 名  
(締切 : 12 月 3 日)

[http://yggdrasil.eng.hokudai.ac.jp/download\\_file/files/qjin/pa30-24.pdf](http://yggdrasil.eng.hokudai.ac.jp/download_file/files/qjin/pa30-24.pdf)

○長崎大学原爆後障害医療研究所 放射線リスク制御部門 教授 1 名 (締切 : 10 月 26 日)

<http://www.med.nagasaki-u.ac.jp/med/recruitment/>

既発行の新 Newsletter はこちらです。

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/newsletter/page.cgi>

新 Newsletter にて発信を希望する情報をお持ちの方は、学会事務局へご連絡・お問い合わせください。

-----

【発行】 一般社団法人日本保健物理学会

【編集】 同企画委員会

【発信元】 同学会事務局

TEL: 03-6205-4649 FAX: 03-6205-4659

E-mail: [exec.off@jhps.or.jp](mailto:exec.off@jhps.or.jp)

-----